

## プロジェクター取付型「電子黒板ユニット」のご紹介

ーオートキャリブレーションで準備が簡単、大画面で電子黒板が活用できるー

エプソン販売(株) ビジネス営業企画部 (文教・自治体)

課長 廣瀬 嘉之

<http://www.epson.jp/>

キーワード：電子黒板、プロジェクター、オートキャリブレーション、大画面

### 1. 短い休み時間でもすばやく準備！！

#### オートキャリブレーションで準備が簡単

エプソンでは、プロジェクターの上部に取り付けて活用する電子黒板ユニットをご紹介します。

最大の特徴はキャリブレーション（位置合わせ）が自動でできること。専用ボードタイプや投写面にセンサーを貼り付けるタイプの電子黒板は一般的に接続や、キャリブレーションに手間と時間がかかりますが、エプソンの電子黒板ユニットなら簡単。煩わしいキャリブレーション作業が自動ででき、配線もシンプルなので、短い休み時間の間にすばやくセッティングができます。

またユニットタイプなので教室間の持ち運びも負担にならず、手軽にICTを活用することができます。

### 2. 投写面を選ばずに低コスト

ユニットがプロジェクター側についているから、投写面を選ばず学校のさまざまなシーンで活用できます。

#### (1) 既存の黒板を活用できる

プロジェクターと合わせて使用するため、投写面に合わせて大きさが自由自在。黒板いっぱい投写すれば最大約ワイド90型※の大画面になり、教室の後方の子どもたちにも、文字や映像を見やすく提示することができます。また、既存の黒板に投写して電子黒板機能を活用することができるため、新規に専用ボードを購入する必要がなく、経済的です。

※黒板の盤面の高さが1200mm、プロジェクター解像度 WXGA の場合。

#### (2) 掛図や立体物にも書き込みできる

黒板以外にも教室にある OHP スクリーンや体育館の壁、さらに学校にある既存の掛図教材、人体模型等にも電子ペンを使い書き込みができます。

普通ならペンで書き込むことができない共有教材でも、書いたり消したりが自在。既存の教材の活用幅が広がります。



写真1 OHPスクリーンに書き込みをする様子

#### (3) 導入済みのプロジェクターで利用可能

すでに学校にプロジェクターをご導入いただい

る場合は、ユニットを追加するだけで電子黒板として利用が可能になります。



写真2 プロジェクターにユニットを設置している様子

※対応プロジェクターに関しては、カタログまたはホームページをご確認ください。

### 3. 授業での効果的な教材提示が可能

#### (1) 豊富なテンプレート・スタンプ

専用のペンツールソフトを追加すれば、電子ペンを使って、投写面上に直接文字や図形などを書き込みます。表示されたペンツールボックスから描画、保存、書画カメラ連携など、多彩な操作が可能です。

#### (2) 書画カメラとの連携

便利な機能として、電子黒板のペンツールソフトからボタンひとつで書画カメラを呼び出すことができるため、さらに電子黒板の活用幅が広がります。たとえば、立体物の教材を書画カメラで投映し、そこに書き込みながら解説を加えたり、子どもたちのノートにみんなで意見交換をしながら書き入れたり、電子黒板の上なら気兼ねなく書き込み、保存も可能です。



写真3 電子黒板と書画カメラを接続している様子

※ 対応機種は ELPDC06、ELPDC11

※ USB ケーブル接続となります。

#### 【製品詳細】

製品名：電子黒板ユニット ELPIU02

オープンプライス